

平成 31 年度第 3 回学校運営協議会実施報告 (敬称略)

令和 2 年 2 月 19 日運営委員会

実施日時：令和 2 年 1 月 30 日 (木) 15:30~17:00

実施場所：本校 209 教室

学校運営協議会委員出席者 (五十音順)

尾崎委員、長田委員、塩見委員、

事務局出席者

金一 (校長)、明石 (教頭)、田澤 (事務長)、川村 (首席)、佐藤 (首席)、上野、吉田、一色、
中島、諸井、奥村、小出、松原、橋本 (分掌長・学年主任) 計 14 名

議事：

1. 学校経営計画に係る事項
 - (1) 平成 31 年度の学校評価について
 - (2) 各分掌・学年の今年度総括について
 - (3) 令和 2 年度の中期的目標について
2. 教員の授業その他の教育活動に関わる保護者からの意見の調査審議に関わる事項
3. その他、校長が必要と認める事項

<平成 31 年度の各分掌・学年の総括と学校評価について> (事務局)

- ・ G20 の継続と共に、リーダー研修も実施し 10 名ほどが真剣に討議に参加。(2 年)
- ・ SNS 等のトラブルの危険性について周知。自転車通学への苦情や遅刻なども増加した。服装や頭髪のルールの見直しを検討中。(生徒指導)
- ・ SNS トラブル予防研修にむけ 2 月に 1 年生対象にアンケートを実施予定。学校教育自己診断の教員の評価の落ち込みへの対応の必要性を感じる。(首席)
- ・ 教員数減を見据えた仕事の取組みの改善。専門コースのガイドラインの作成。(教務)
- ・ 就職希望者は全員内定。既卒者の公務員合格など好調。入試と奨学金の制度の変更に現場は混乱。貸与型から給付型が増。マイナンバーの導入で手続きは簡素化されるも受給の詳細は進路指導部ではわからなくなった。前借りタイプは試算で 500 万円程返済が必要(進路)
- ・ 考査時の別室受験を 3 学期から開始。清掃活動をより充実させたい。内科検診の医師の確保が課題。(保健)
- ・ 部活動の入部率は 1 月になって昨年度の入部率を上回り、特に 1 年生は 20% 近く上昇。体育祭を 6 月実施の変更するにあたり予定の大幅に見直している。(生徒会)
- ・ 教員向けの人権研修の充実と生徒向けの人権 HR の内容精査。学校説明会は例年並みの参加人数を確保した。中高連絡会や出前進路学活も活発に実施できた。(人権 NW)
- ・ 挨拶、朝学など基本的な生活習慣の改善指導。勉強マラソンの実施。(1 年生)
- ・ 生徒全員の卒業。進路保障に向けた進学講習。生活強化月間の設定。(3 年生)
- ・ 考査期間中に実習に参加。3 名とも希望の就業が実現 (企業 2 名家業 1 名)。(共生)

<平成 31 年度学校評価について> (校長)

- ・ 進路実現をはかる学力の育成では、学校教育自己診断アンケートの「授業に工夫をしている」「進路別満足度」をもとに、進学講習を定着させることができた。

- ・豊かな人間性と社会で生き抜く力の育成では、小中地域行事の参加生徒が大幅に増加した。
1・2 学期の欠席者数は減少したものの遅刻者数が増加。今後 S C， S S W を積極的に活用し教育相談体制の整備を進めていきたい。共生推進教室の取り組みでは、実習先の確保をはじめ、全員内定を得ることができた。
- ・学校行事や校内組織の機構改革では、体育祭の実施時期を 6 月に変更。進学講習等の取り組みの検証を次年度実施予定である。

< 質疑応答 >

- ・奨学金の利用者は多いと感じる。中学校、高校、大学と借財を返していけるのか心配。中学では授業標準時数の確保がシビアで、高校は大丈夫なのか。(委員)
- ・プレゼンの能力について 80%の目標だが自発的自主性が大切だと思うのでよろしく願いたい。地域との連携については地域とってもありがたく、この数字は評価に値する。地域の行事に参加してくれる生徒が増えているのは素晴らしい。入部率についても 70%近いのは評価する。継続性のご指導も願いたい。暑さや災害への対策が望まれる。学校と協力して地域としてもやっていきたい。(委員)
- ・来年、大学入試は大きく変わる。大学としては面接だけでなく、筆記試験を入れるようになった。志望動機は、入試要綱を見て書くので、どの生徒もよく似た内容になる。高大接続でミスマッチを防ぐため、生徒へ学科名だけでなく勉強できる内容を大学教員に聞くように指導してほしい。(委員)
- ・SNS のトラブルやそのトラブルの把握はどうなっているか。(委員)
インスタのストーリーに不適切な動画をあげているのは、生徒からの情報提供でわかる。(事務局)
- ・企業はもちろん、大学でもインスタなどをチェックしている。来年入る予定の生徒をチェックし、アップした内容によって常識がないと判断して内定取り消しもありうる。(委員)

< 令和 2 年度の学校経営計画の中期的目標の承認について > (校長)

- ・多様な進路ニーズに応えるため専門コースや総合系の授業を充実させる。
- ・小中地域の行事、学習活動等に参加する生徒を、毎年延べ 300 人以上を維持。
- ・部活動の入部率を 2022 年度までに 70%にして維持。
- ・2022 年度まで、共生推進教室の生徒の進路決定率 100%を維持。
- ・専門コース制の確立とともに、学校行事や校内組織の機構改革を行う。

< その他 校長が必要と認める事項について >

- ・奨学金の貸与について、給付の形となり通知の遅れなどで現場は大変であった。委員の皆さまには奨学金を多く借りている生徒がいる現状をお知りおきいただけたらと思う。

< 質疑応答 >

- ・校長の学校経営計画を教員はどう考えているのか。(委員)
校内の会議で示し、了解を得ている。(校長)
- ・教育の質を落とすことができないので、質も保障しながら先生方も大変ですが、学校教育をよろしく願いたい。令和 2 年度の学校経営計画の中期的目標を承認する。(委員)

以上報告いたします 教頭 明石 弓